

❖作業の様子を2階から見学

給食を作る様子を、給食センターの2階から見学することができます。子どもたちが食べる給食を作っているところが見られると聞いて、とても安心できました。



① バイキング給食

みんなが大好きなバイキング形式

② セレクト給食

献立の一部を子どもたちが選択

③ リクエスト給食

人気のある献立を反映

④ 一流シェフ監修給食

日本の食材や食文化にこだわりを持つシェフが監修予定



また、見学コース内には調理員が使用しているものと同じ手洗い場や、衣服のほこりを落とすエアシャワーがあり、実際に体験することができます。小型のお釜かまが置いてあり、動かしてみることが出来ます。

調理員が行うことを体験すること
で、さらに身近に感じますね。

※見学についての詳細は、今後、広報たはらなどでお知らせします。

❖多彩な給食で子どもたちのハートをキャッチ！

子どもたちが「食」へ関心を高めるように、多彩な給食が予定されているそうです。



●見学コース

●衣服のほこりを落とすエアシャワー

「給食おいしい！最高！」と子どもたちを喜ばせ、すくすく育てる給食が、学校へ、園へと運ばれていくのがとても楽しみになりました。

田原市は農業がとても盛ん。できる限り地元の食材を活用して「地産地消」に取り組む考え方は、給食センターが新しくなっても同じです。

❖給食を楽しみ、心を育てる

ような内容ですね！



●お釜が並ぶ煮炊き調理室。床を色分けし調理の過程ごとに通路を分けて衛生管理をしている

4月

今月の渥美半島の花&鉢花

カーネーション(切花/出荷時期:10~6月)

【花言葉】…母への愛、生きた愛情

日本では母の日に贈る花としてもおなじみです。本来は春の花ですが、温室栽培により長期間出荷されています。カラーバリエーションは豊富で、赤、白、ピンク、黄色、オレンジ、緑などさまざまな色が生産されています。

市内では、切花だけでなくポットカーネーションといった鉢花としての栽培もされています。鉢であれば長期間花を楽しむことができるので、贈り物にはオススメです。

田原市では、切花では約600万本生産されており、生産量は県内で4位。鉢花では約6万鉢で、県内2位の生産量を誇っています。



ラベンダー(鉢花/出荷時期:3~5月)

【花言葉】…沈黙、私に答えてください

風に揺れるこの花の姿は高原を連想させ、見ているだけでも涼しい気分を味わうことが出来ます。

アロマテラピーでは、この花のハーブティを飲んだり、ポプリを枕に入れておくと、気持ちを落ち着かせる効果があるとされ、「沈黙」という花ことばもこれに由来します。

田原市では鉢物として出荷されています。

